

# 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業への提言書



平成 21 年 1 月

善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業検討懇談会

【 目 次 】

1.	はじめに	1
2.	善福寺川とその流域の様子	
■	善福寺川の自然	2
■	善福寺川周辺の土地利用変化	6
■	善福寺川の改修と下水道整備	7
3.	善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業への提言	
■	目標とする水辺環境について	8
■	善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業 8つの視点	9
4.	おわりに	18
◇	資料編	19
●	善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業検討懇談会委員名簿等	
●	委員名簿	30
●	検討懇談会の開催状況	31

表紙説明



## 1 . はじめに

善福寺川は、杉並区のほぼ中央を北西から南東に流れる延長10.5kmの1級河川です。神田川に合流した後、台東区柳橋で隅田川に合流し、東京湾に注いでいます。昭和の初期までは、善福寺川周辺には台地よりやや低い土地が広がり水田が耕され、ホタルが飛び交い、川にはタナゴやメダカなどが多く生息していました。

しかし、昭和20年ごろには、人口増加とともに市街化が進み、浸水被害が川沿いで多発したことから、水害から地域を守るための河川改修が進められ、コンクリート護岸が多く見られるようになりました。また、市街化が進むにつれ下水道も整備され、川の水質は改善されましたが、合流式下水道のため降雨時には雨水に家庭などからの汚水が混じって川に流入し、川の生態系に影響を与えています。そのため、かつて川沿いに見られた水田や湿地などの水辺環境やそこに見られた多様な動植物は、その多くが姿を消しました。このように現在の善福寺川を取り巻く水辺環境は、必ずしも豊かで魅力あるものとはいえません。

こうした中、杉並区では、区民生活と密接に結びついた善福寺川で河川の治水対策事業と調整を図りながら、新たな事業を展開しようとしています。それは、良好な河川環境の指標となる水鳥に着目し、潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図ることを目的とした善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業です。事業の基本的な構想についての提言をまとめるため、学識経験者、地元有識者、行政関係者等による検討懇談会が開催され、専門的または区民の視点に立った観点からの議論がなされました。そして、ここにハード、ソフト両面からの基本的な取組の視点について提言をとりまとめることができました。この提言は、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業を進めるうえで、基本的に留意すべき事柄と考えます。

生物多様性の保全が求められる今、本事業は、時機をとらえた事業ではないでしょうか。この事業をきっかけに、善福寺川の水辺環境を一層大切に守り、育てる活動が、将来にわたって区民と行政との協働により進められることを願うとともに、このような動きが、善福寺川のみならず川沿いの流域へも広がり、より豊かな区民生活の創出につながることを期待しています。

平成21年1月30日

善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業  
検討懇談会会長 土屋 十圀

## 2. 善福寺川とその流域の様子

杉並区では、潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図ることを目的とした善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に取り組もうとしています。事業に取り組むにあたっては、まず善福寺川の現状や過去の様子を理解することが大切です。そこで、事業への提言を行う前提として、検討懇談会委員の共通認識をもつために、善福寺川の自然環境や土地利用状況、河川改修の経緯等についてまとめておきたいと思います。

### 善福寺川の自然

#### < 地形・地質 >

杉並区は、東京都中央部の武蔵野台地に位置しています。この武蔵野台地は、多摩川により形成され、北西を入間川、北東を荒川、南を多摩川に囲まれています。武蔵野台地は東京都青梅市付近が最も高く、東に向かって緩やかに傾斜しています。杉並区の海拔は、西部地域で約 50m、東部地域で約 40m であり、台地の比高差は約 10m のほぼ平坦な立地であることが杉並区の特徴となっています。

杉並区の地質は、表層は武蔵野ローム層と立川ローム層に厚く覆われています。その下層にはローム質の粘土層、さらにその下には武蔵野礫層とよばれるかつての多摩川の河床礫層があります。



「すぎなみのかたと生き物」(平成 17 年)を利用し作成

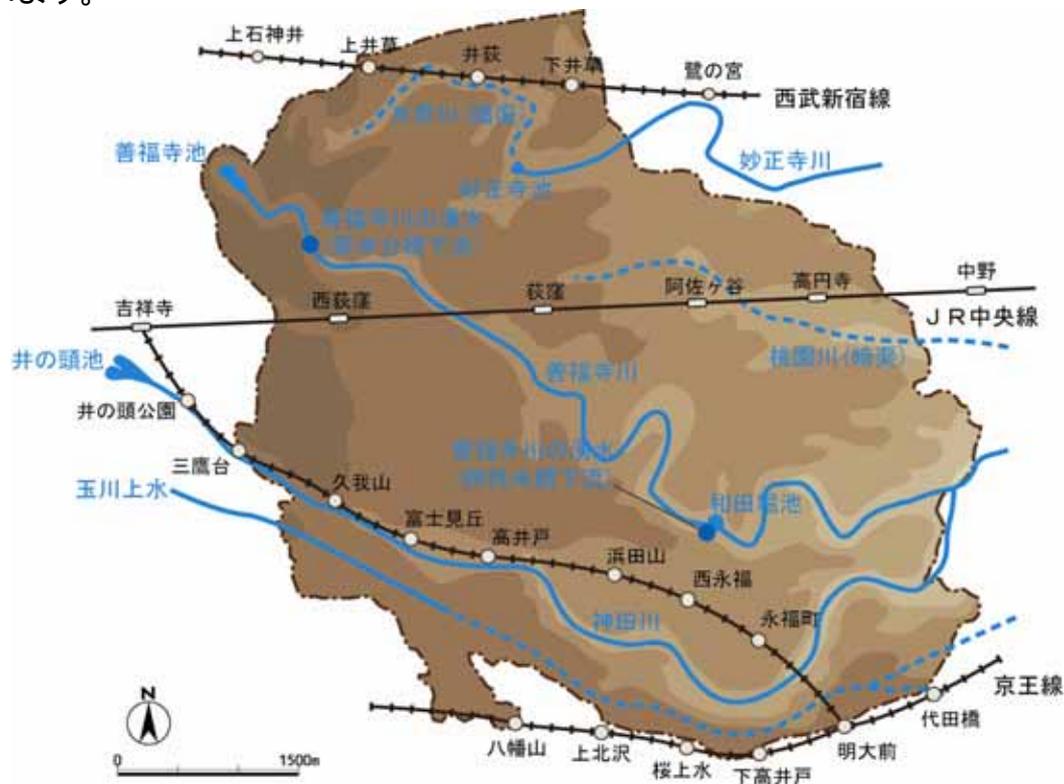
## <水系>

杉並区を流れる河川は、妙正寺川・善福寺川・神田川と、現在は国指定史跡に指定されている玉川上水があります。また今では、暗渠となった井草川と桃園川もあり、河川と水路が巡るまちといえます。

善福寺川は、善福寺池を源に、区のほぼ中央を緩やかに蛇行しながら東へ流れ、中野区と接する付近で神田川と合流します。この善福寺川の流域一帯は、豊富な地下水があります。そのため杉並区は、東京23区の中で現在でも地下水を上水として利用している唯一の区となっています。

しかし、湧水は市街化などの影響により水量が減り、善福寺川の水量にも影響を及ぼしています。そのため、平成元年から善福寺川に千川上水からの導水が行われ、ある程度の水量が確保されています。

水質は、以前は家庭や工場排水による汚濁に悩まされていましたが、下水道の普及により、平常時の水質は改善されました。しかし、雨水と家庭などからの排水を同じ管渠に流す合流式下水道方式をとっており、降雨時には下水道で処理しきれない汚水が流入することによって、水質が著しく悪化するため、改善が求められています。



杉並区の河川と地形

「すぎなみのかわと生き物」(平成17年)を利用し作成



### 善福寺川の流域

国土交通省 国土数値情報を利用し作成

善福寺川の流域を図示しました。流域は、杉並区より西側には武蔵野市、練馬区や西東京市にまで及んでいます。また杉並区より東側では、中野区の一部に渡っています。

< 動植物 >

昭和20年～30年頃、善福寺川やその流域では、ムサシトミヨやホタル、メダカなどがあちらこちらで確認されてきました。現在では環境の変化により、これらの種のほとんどが確認されなくなりました。

このような中、善福寺公園や和田堀公園等の比較的に緑が多いところでは、カモ類、カワセミ、コサギなどが確認されます。植物ではナガエミクリ、エビモなどの希少な水生植物が善福寺川に生育していますが、オオカナダモ、ショカツサイ、オランダガラシなどのような本来生育していなかった外来種が今では多く確認されるようになってきました。【詳細は資料1～資料6 参照】善福寺川の特徴として、他の河川に比べて多くの水草が生育しています。これは善福寺川の水深が浅く、雑食性のコイが少ないことが要因であると言われています。

図に示したように、昔に比べて現在は全体的に生き物の個体数が少なくなり、脆弱な生態系の構造となっています。

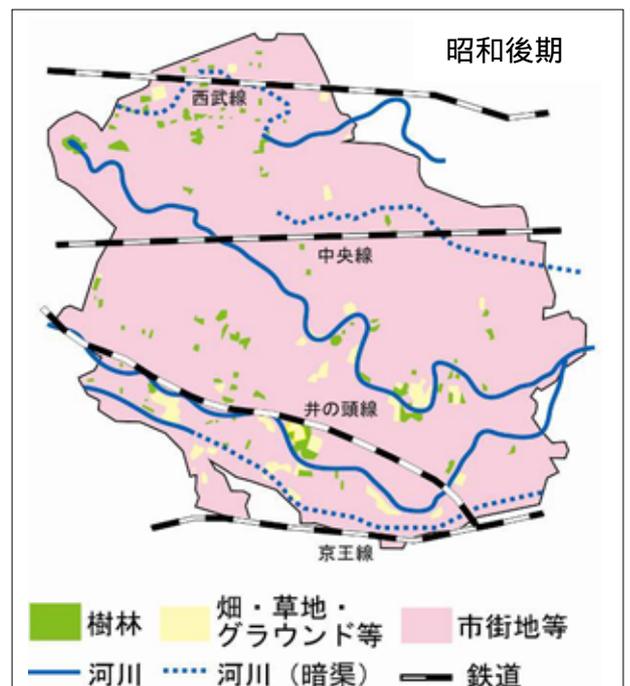
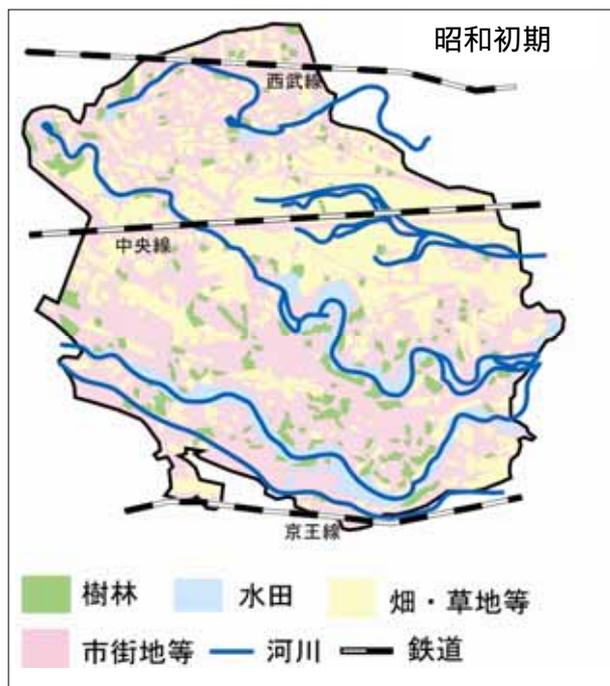


善福寺川流域の主な動植物の生息・生育状況

## 善福寺川周辺の土地利用変化

昭和初期まで、善福寺川流域では水田が広がり、多様な水辺を含めた緑の空間が広がっていましたが、図に示したように市街化が進んだ昭和後期では、水田や畑は消失し、緑地も限定された場所にしか見られなくなりました。

現在、善福寺川流域には善福寺公園や善福寺川緑地などのまとまった公園・緑地があると同時に、小規模な緑地も点在しています。この中には、過去の歴史的著名人や文化人の居住跡地（嵯峨邸跡地など）も見られます。（現在、嵯峨邸跡地は、都立和田堀公園内の観察の森としてバードサンクチュアリとなっています。）また、近年、学校ビオトープなどの取り組みも進んでおり、善福寺川流域でも多くの学校が取り組んでいます。【詳細は資料7 参照】



杉並区の土地利用の変遷

「平成9年度緑化基本調査報告書」(平成10年)より作成

## 善福寺川の改修と下水道整備

昭和 20 年頃には、浸水被害が河川沿いの全域で多発していたことから、水害から地域を守るために河川改修事業が進められました。善福寺川の戦後の本格的な改修は、昭和 25 年からのことで、昭和 38 年には、松溪橋までの約 5.4km が完成し、以後の改修は、神田川や妙正寺川と同様に、緊急整備計画に組み込まれ、昭和 45 年度に 1 時間に 30 mm の降雨に対応できる整備が完了しました。現在では、1 時間に 50 mm の降雨に対応できるように、神田川環状七号線地下調節池の整備や和田堀公園内の掘り込み式調節池整備、護岸改修工事等の整備が行われたため、下流域では水害が減少しています。

昭和 40 年代に土木技術者たちにより初めて親水という概念が提案され、都内の中小河川では善福寺川がその概念を取り入れる出発点となりました。その後、和田堀公園や善福寺川緑地内を中心に、水辺に近づけるテラスや魚巢ブロックの設置など、うるおいのある水辺の形成が行われています。つまり、人々の意志により自然環境の保全・回復という観点をいち早く取り入れたのが善福寺川であるといえます。善福寺川の特徴として、こうした歴史を持つことを認識しておくことは大切なことだと思えます。

一方、下水道は、1 時間に 50 mm の降雨に対応できるよう整備は完了していますが、合流式下水道のため、雨水による希釈をあまり受けない家庭などからの汚水が川に流入し、河川の水質悪化を招き、生き物の生息・生育に影響を与えます。

また、洪水時には、その水量による流れにより魚などが下流に流されてしまい、数を減らし生態系に影響を与えます。



大きく蛇行した善福寺川の流路  
杉並区みどりの実態調査(平成 20 年)より

### 3. 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業への提言

善福寺川とその流域の様子を確認し、それらを踏まえた上で、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に取り組むにあたって留意すべき点について提言をしたいと思います。提言に際しては、まず、本事業で目標とする水辺環境について考えてみました。そして、その目標とする水辺環境を実現するために重要と考える基本的な8つの視点を示しました。

#### 目標とする水辺環境について

本事業で目標とする潤いと安らぎのある水辺とは、どのような環境をいうのでしょうか。初めに、目指すべき姿を確認しておきたいと思います。潤いと安らぎのある水辺とは、豊かな湧水に恵まれた美しい川の流れがあり、そこに多様な動植物が生息・生育するような水辺ではないでしょうか。そして、区民が、身近な場所でこうした水辺に触れられ、潤いと安らぎを実感できることが理想ではないでしょうか。

また、川のみでなく、川沿いの流域に広がる公園・緑地、学校、神社やお寺、団地などの貴重な自然にも目を向ける必要があるでしょう。点から線、線から面へと川から発する豊かな自然の広がりとそれらのつながりを意識して取り組むことが重要と考えます。



目標とする水辺環境のイメージ

## 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業 8つの視点

善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業により、善福寺川を中心に、豊かな自然環境の広がりをつながりを考えながら、区民が潤いと安らぎを実感できる水辺環境の再生・創出を目指すことは、意義あることと考えます。

目標とする水辺環境の実現には、河川の治水対策事業と調整を図りながら、次の8つの基本的な視点に留意して事業を進めることが重要と考えます。

視点 豊かできれいな流れをつくろう

視点 みどりを増やそう

視点 多様な生物が棲む水辺環境をつくろう

視点 流域のネットワークをつくろう

視点 事業を知らせてみんなの関心を高めよう

視点 みんなで事業に取り組もう

視点 できることから始めて続けよう

視点 事業を見守り将来につなげよう

## 視点 豊かできれいな流れをつくろう

安定した水量ときれいな水質を確保することは、豊かな水辺環境づくりの基本と考えます。豊かできれいな流れは、多様な動植物の生息・生育空間を生み出し、潤いと安らぎのある水辺環境づくりにつながるでしょう。

そのためには、善福寺川に流れこむ地下水（湧水）をより豊かなものにしていくことや水質悪化を招いている合流式下水道の改善を検討する必要があります。

地下水（湧水）の保全については、善福寺川の流域全体で考え、区民一人ひとりが雨水浸透施設の設置などを推進していくことが重要です。

また、合流式下水道の改善については、東京都と連携し、長期的な課題として取り組むべきでしょう。



水源(善福寺池)の保全



浸透性舗装・雨水浸透柵・雨水浸透管の設置(区立柏の宮公園)



湧水の保全（御供米橋周辺の湧水箇所の遠景・近景）



豊かできれいな流れをつくるための施策イメージ

## 視点 みどりを増やそう

豊かなみどりは、野鳥が休息したり繁殖したりする空間や魚や昆虫などが生息しやすい環境をつくり出します。また、魚や昆虫が増えれば、それらを餌とする水鳥も集まってきます。善福寺川やその流域でみどりを増やすことは、動植物にとっても、区民にとっても良好な環境づくりにつながります。

川の護岸、河川管理通路、周辺の公園・緑地・学校・その他公共施設など、可能な限りの場所で緑化を推進しましょう。その際、昆虫や野鳥が集まるような花や実をつける植物を多く植えると効果があるでしょう。また、河床に水草を殖やし、魚や水生生物の生息空間をつくると、それらを求めて野鳥も飛来するでしょう。流域の団地、お寺や神社、その他民有地でも、みどりの保全、緑化の推進を図り、善福寺川を中心とした面的なみどりの広がりをつくることも重要と考えます。川沿いや周辺道路沿いの民有地を含めたみどりの生垣の育成などに力を入れることも効果的ではないでしょうか。



現況（平成 16 年）



河川緑化のイメージ

## 視点 多様な生物が棲む水辺環境をつくろう

川の瀬や淵、ヨシ原、池、水田など、多様な水辺環境には、多様な動植物が、各々の生活に適した環境で生息しています。こうした多様な水辺環境を善福寺川の河床や護岸、湧水地点、周辺の公園・緑地の池などを対象に保全・創出していくことは、生物多様性を保全する観点からも重要です。

川の河床に、瀬や淵をつくったり、川沿いの大規模な公園・緑地に、湿地や水田などの再生・創出を図ったりすることを検討してはどうでしょうか。善福寺川では、大雨のたびに魚が下流へ流されることがあります。魚が棲めるよう魚が避難したり遡上したりできる川づくりに取り組むことも必要でしょう。また、川の周辺に、野鳥が安心して休息できるバードサンクチュアリなどの設置も考えられると思います。



水辺環境再生の事例(横浜市いたち川)



水田のイメージ(区立柏の宮公園)



都立和田堀公園内 観察の森  
バードサンクチュアリ(嵯峨邸跡地)

## 視点 流域のネットワークをつくろう

多様な動植物を育むための環境づくりは、善福寺川だけではなく、流域を含めた面的な取組とともに、流域に広がる個々の空間のつながりを意識して進めることが大切です。みどりと生物の多様性との関係は、一般的に「みどりは大きくて円型に近いほうが生物の多様性が高まる」といわれ、さらに「独立したみどりをつなげると生物の多様性はより高まる」といわれます。

本事業も、善福寺川と善福寺川周辺の公園・緑地や学校ビオトープなど相互のネットワーク形成を図り、生物の多様性を高めることが重要と考えます。生きた博物館ともいえる周辺の学校や公園・緑地などのビオトープをトンボやカモなどの繁殖・休息地としてとらえ、川とのネットワークづくりを意識すると川の自然環境向上につながるでしょう。また、ビオトープで育成したメダカや水草などを川に放したり植えたりすることも考えられるでしょう。



善福寺川周辺とのネットワーク概念図

## 視点 事業を知らせてみんなの関心を高めよう

事業をより実りあるものとするには、区民への事業周知に努めて、区民一人ひとりの関心を高め、参加意欲を引き出していくことが大切になります。そのため、事業の周知方法を工夫しながら充実していく必要があります。

事業に関連した区民参加の勉強会や環境調査、シンポジウムなどを積極的に開催してはどうでしょうか。周知の際に、例えばカワセミなどを事業のシンボルとして活用すると、区民にわかりやすく、親しみやすい事業となるでしょう。

川沿いを歩きやすく整備するとともに、川沿いに、事業に関連する基礎知識についてのわかりやすい説明板を設置して、子どもたちを始めとした多くの区民の理解を深める工夫も必要と考えます。また、ムサシトミヨやメダカ、ヘイケボタルなど、かつて善福寺川で見られた豊かな水辺環境を象徴する生物の復元を試み、区民の関心を引き出すことも面白いでしょう。



カワセミ



ムサシトミヨ

(ムサシトミヨの巣)



メダカ(黒メダカ)



野鳥の説明板(区立西田小学校)

## 視点 みんなで事業に取り組もう

善福寺川の流域を含めた広い範囲で事業を展開するには、多くの区民との協働による充実した事業展開を図る必要があるでしょう。子どもからお年寄りまで世代を越えた多くの区民による事業の取組が求められます。

川歩きや生き物観察会などの取り組みやすい活動を、地域の小学生などと始めると、その保護者や多くの区民を巻き込んだ地域活動に発展するのではないのでしょうか。

そして、既に善福寺川に関する様々な自主活動を実施されているボランティアや NPO 団体などのネットワークづくりに取り組むことも事業を効果的に進めるためには必要と考えます。

また、公園、学校等のビオトープを充実することや、雨水浸透施設の設置に取り組むことが、間接的に、豊かな水辺環境の創出につながることを多くの区民に理解いただき、事業に係っていただくことも区民参加の幅を広げることにつながります。



環境イベント（都立和田堀公園）  
（写真提供 みどりの善福寺川を愛でる会）



学校ビオトープの充実（区立杉並第六小学校）  
（写真提供 ビオトープネットワーク杉並）

## 視点 できることから始めて続けよう

事業を進めるにあたっては、すぐできる取組と、実現に時間がかかる取組があります。中長期の視点を持ちつつ、短期に実施可能なことから取り組むことが大切です。また、できることから始めて、将来にわたり継続させていくことが重要です。

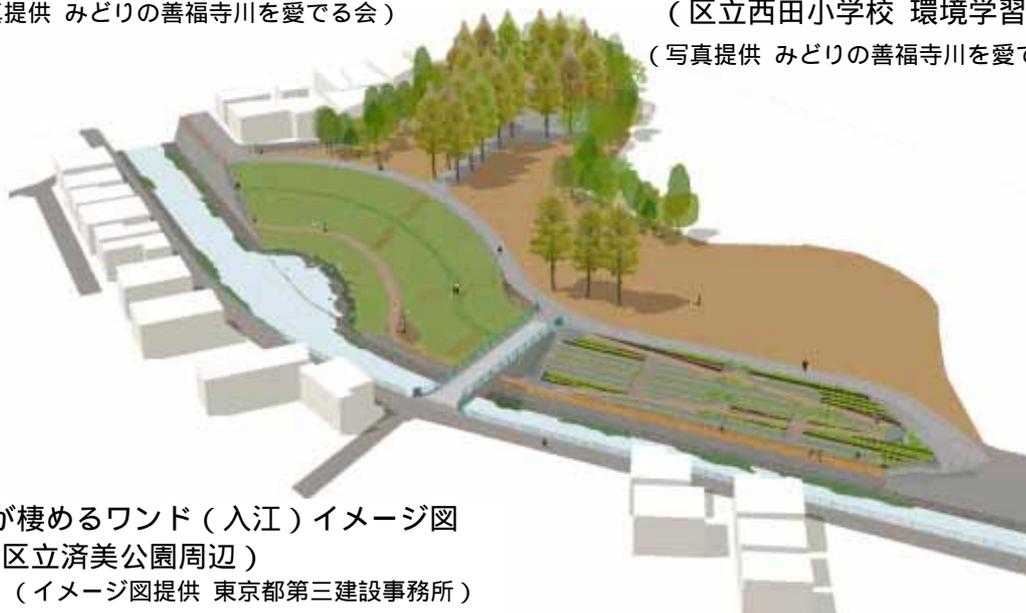
中長期にわたる河川改修や下水道改善で、自然河床の創出や水質改善を目指すとともに、日常の河川管理のあり方を見直し、みどりの保全・創出に取り組む必要があるでしょう。川沿いで見られる動植物の説明板の整備などは、短期に実施可能な効果的な取組ではないでしょうか。また、川の生き物調査などは、区民参加ですぐに実施できるソフトの取組といえます。



川の生き物調査（御供米橋周辺）  
（区立松ノ木小学校 環境学習風景）  
（写真提供 みどりの善福寺川を愛でる会）



川の生き物調査（松浜橋周辺）  
（区立西田小学校 環境学習風景）  
（写真提供 みどりの善福寺川を愛でる会）



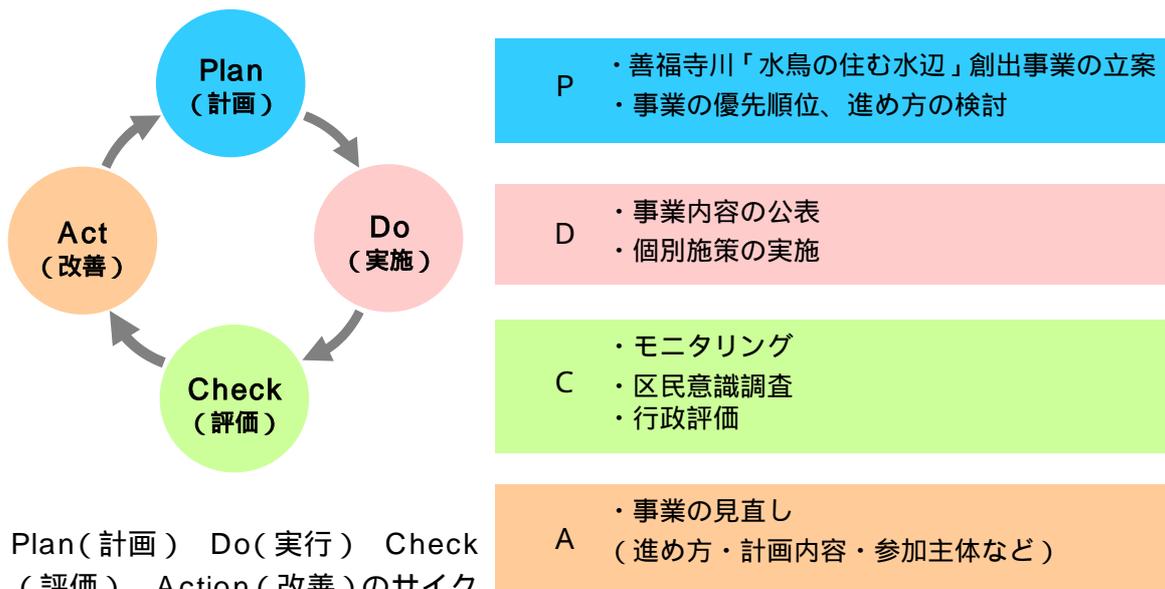
多様な生物が棲めるワンド（入江）イメージ図  
（善福寺川 区立済美公園周辺）  
（イメージ図提供 東京都第三建設事務所）

## 視点 事業を見守り将来につなげよう

事業の充実・発展を図るには、事業を実施しながら、取組の効果を検証し、必要あれば事業を見直す姿勢が重要と考えます。

水鳥の一斉調査や河川生物調査など定期的なモニタリングを実施して、その結果を検証し、事業に反映する PDCA（計画、行動、評価、改善）サイクルを意識した仕組づくりが必要と考えます。

また、水辺環境に関する区民の満足度を定期的に調査して把握することも、事業の成果を見る上で重要と考えます。



Plan(計画) Do(実行) Check(評価) Action(改善)のサイクルに基づき、事業を継続的に見直し発展させていきます。

PDCAサイクルによる事業の充実・展開

## 4. おわりに

私たち検討懇談会委員は、専門とする分野はそれぞれ異なりましたが、5回の懇談会を通じ、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業について、真剣に議論し、知恵を出し合って提言をまとめました。

善福寺川は、その起終点を、ほぼ杉並区内に持つ杉並区の川といえます。湧水に恵まれ、川沿いには、善福寺公園、善福寺川緑地、和田堀公園などのまとまった公園・緑地や多くの小・中学校のビオトープなどがあります。提言は、こうした善福寺川の特性を踏まえ、目標とする水辺環境を実現するために留意すべき基本的な視点をまとめたものです。目指すべき目標を見据えながら、できることから区民とともに実施していくことが大切なことと考えます。

この事業をきっかけに、区民意識が高まり、潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出が着実に進むことを期待しています。そして、5年後、10年後に、善福寺川とその流域で、活発な区民活動が展開され、豊かな水辺環境づくりが進んでいることを願います。また、杉並区での取組が、全国の豊かな水辺環境の再生・創出につながるとすばらしいと思います。

# 資料編

## 資料 1

### < 善福寺川で確認された植物 >

「杉並区自然環境調査(第 5 次)」の植物調査結果(調査期間平成 17 年 4 月～平成 19 年 5 月)及び「杉並区 河川の生物 第 5 次河川生物調査」の植物調査結果(調査期間平成 16 年 8 月及び 10 月)における善福寺川及び周辺で確認された植物を表 1 に示しました。

表 1 確認された植物(1/5)

科名	種名	文献1					文献2	科名	種名	文献1					文献2
		善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川			善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川
イワヒバ科	カサヒバ コンテリカラマコケ							(ニレ科)	ケヤキ						
トクサ科	スキナ トクサ							クワ科	ヒメコウゾ クワサ イヌビロ カナムクラ ヤマクラ						
ハナヤスリ科	オオハナワラビ フノハナワラビ ヒロハハナヤスリ							イラクサ科	ヤブマオ カラムシ ミス アオミス						
フサダ科 ミスリビ科	カニクサ クヂシノブ ホウライシダ 属の一種 (園芸種)							クワ科 タデ科	イチジク ミスヒキ キンミスヒキ ヤナキヌカ オオイヌタデ イヌタデ ハナタデ ホントクワデ ツルトクダミ ミチヤナギ イタドリ アレチギシギシ キンギシ ヒメツルソバ エゾノギシギシ ギシギシの一種						
イノモトソウ科	オオハノイノモトソウ イノモトソウ							ヤマコホウリ科 オンロイハナ科 スヘリヒユ科	ヒコシヤマゴホウリ オンロイハナ スヘリヒユ ハセラン						
チャセンシダ科 オンダ科	コハノヒノキシダ オニヤブソテツ ヤブソテツ ヘニシダ オオイタシダ アスカイナデ アイアスカイナデ シュウモンシダ							ナデシコ科	ミノツツリ オランタミナクサ ツメクサ ウシハコバ コハコバ ミドリハコバ ハコバ 属の一種						
ヒメシダ科	ゲシゲシシダ ヒメワラビ ミドリヒメワラビ							アカサ科	シロサ ケアリタウリ コアカサ アカサ						
メダ科	イヌワラビ シゲシダ							ヒコ科	ヒカゲイノコスチ ヒナタイノコスチ イヌヒユ						
ウラボシ科 イチヨウ科 マツ科	ノキシノブ イチヨウ ヒマラヤスキ アカマツ クロマツ							モクレン科	ユリノキ ユアシ シモクレン						
スキ科	スキ クヂラクウショウ ヌマスギ							マツソサ科 シキミ科 ロウハク科 クスノキ科	サネカスラ シキミ ソシンロウハク クスノキ ヤブニッケイ ケツケイシユ ヤマコウハシ クロモジ シロモモ アブラモチ						
ヒノキ科	ヒノキ サクラ コナカシツ							カツラ科 キンホウケ科	カツラ キンホウケ ヒメウス						
マキ科 イチイ科	イヌマキ キヤラホク カヤ														
ヤマモモ科 クマルミ科	ヤマモモ オニクマルミ シナサワクマルミ														
ヤナギ科	シタレヤナギ ハッコヤナギ アカヤナギ														
カハノキ科	ハノノキ アカシテ イヌシテ														
フナ科	カハ ヌカシイ マテハシイ クヌキ カシワ アラカシ シラカシ カハメカシ コナラ														
ニレ科	ムクノキ エノキ アキニレ														

文献 1 : 杉並区自然環境調査報告書(第 5 次)

文献 2 : 杉並区 河川の生物 第五次河川生物調査報告書

表1 確認された植物(2/5)

科名	種名	文献1						文献2	科名	種名	文献1						文献2
		善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川	善福寺公園			善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川		
(キンポウゲ科)	エンコウソウ								トヘラ科 ハラ科	トヘラ							
	コホトツル									イトサクラ							
	セリハヒエンソウ									イヌサクラ							
	ウマノアシガタ									イブキシモツケ							
	キツネノホトタ									ウコン							
	ヒメユウキンカ									ウメ							
メギ科	メギ								オオシマサクラ								
	イカリソウ								オハビイチゴ								
	ホリハヒイラキナンテン								カシイチゴ								
	ヒイラキナンテン								カナメチ								
アケビ科	アケビ								カマツカ								
	ミツハアケビ								キンミスヒキ								
ツツラフシ科 スレソ科	アオツツラフシ								クサイチゴ								
	コウホネ								クササケ								
ドクダミ科	スレソ科の一種(園芸種)								ココメウツギ								
	ドクダミ								コデマリ								
セリヨウ科 マダヒ科 ツバキ科	ハンゲショウ								ササクラ								
	ヒトリシズカ								シャリンバイ								
	キウイ								シロヤマブキ								
	カンツバキ								ソメイヨシノ								
	ヤブツバキ								タチバナモトキ								
	ツバキ								トサシモツケ								
	サザンカ								チガハモシイチゴ								
	サカキ								チウシロイチゴ								
	ハマヒサカキ								ノイバラ								
	ヒサカキ								ハライチゴ								
オトギリソウ科	モッコク								ヒリ								
	チャノキ								ヘビイチゴ								
クシ科	ヒヨウヤナギ								ホケ								
	キンシハイ								ミツハツチグリ								
	キクマン								モシイチゴ								
	クサノオウ								モモ								
	ムラサキクマン								ヤマヤマブキ								
アブラナ科	シラユキゲシ								ヤブヘビイチゴ								
	タケニクサ								ヤマサクラ								
	ナガミヒナゲシ								ヤマブキ								
	アブラナ								ユキヤナギ								
	イヌカネカラシ								トキクサンザシ属の一種								
	イヌカラシ								ヤブマス								
	イヌナスナ								ハナスオウ								
	オオハタネツケバナ								ヌスビトハギ								
	オランダカラシ								ノササゲ								
	カネカラシ								ヤマハギ								
マンサク科	ショカツサイ								ネコハギ								
	タネツケバナ								イヌエンジュ								
	ナスナ								クス								
	ミチタネツケバナ								ハリエンジュ								
	メキシコマンネングサ								エンジュ								
	ヒュウガミスギ								シロツメクサ								
	トサミスギ								ヤハズエンドウ								
	マンサク								ヌスメリエンドウ								
	コモチマンネングサ								アツ								
	ウツギ								カタハミ科								
ハンケイトウ科 ユキノシタ科	ヒメウツギ								イモカタハミ								
	アジサイ								カタハミ								
	カクアジサイ								アカカタハミ								
	ヤマアジサイ								ムラサキカタハミ								
	ユキノシタ								ワウロウ科								
トウダイグサ科	アサギソウ								アメリカワウロ								
	ユキシロ								ゲンジブヨウコ								
トウダイグサ科	ユキシロ								エノキクサ								
	ユキシロ								ユキシロ								

文献1：杉並区自然環境調査報告書(第5次)

文献2：杉並区 河川の生物 第五次河川生物調査報告書

表1 確認された植物(3/5)

科名	種名	文献1					文献2	科名	種名	文献1					文献2	
		善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川			善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川	
(トウダイクサ科)	アカメカシウ コムカソウ							(アカハナ科)	アカハナ コマツヨイクサ ユウゲショウ							
ユズリハ科 ミカン科	ユズリハ ナツミカン カラタチ カラスザンショウ ザンショウ							アリトウクサ科 ミスズキ科	オオアサモ アサキ ハナミスズキ ミスズキ クマノミスズキ ザンシュウ							
ニガキ科	ニウウルシ ニガキ							ウコキ科	ウド タラノキ ヤツデ キツタ ハリギリ							
センダン科	センダン センダン							セリ科	アジトハ ミツハ ノヂトメ チトメクサ セリ ヤブニンジン							
ウルシ科	ツタウルシ ヌルテ ハセノキ ヤマハセ ヤマウルシ							ツツジ科	トウタンツツジ アセビ サツキ リュウキュウツツジ キリシマツツジ クマルツツジ ヤマツツジ オオムラサキ ヒラツツジ ツツジ科の一種(園芸種)							
カエデ科	トウカエデ イタセカエデ エノコウカエデ イロハモミジ							ヤブコウジ科 サクソウ科 カキノキ科 エウノキ科	マンリョウ コナスピ カキノキ エウノキ ハクワンホク							
ムクロシ科 トチノキ科 ツリアネソウ科 モチノキ科	ムクロシ トチノキ キツリフネ イヌツゲ モチノキ ウメトドキ							ハイノキ科 モクセイ科	サツアザキ レンキョウ シナレンキョウ チョウセンレンキョウ トネリコ アオダモ ネズミモチ トウネズミモチ イモタノキ ヒイラキモクセイ キンモクセイ ヒイラキ ムラサキハジイ							
ニシキキ科	ツルウメモドキ ニシキキ コマユミ マサキ ツリバナ マユミ							ミツガシラ科 キョウチクトウ科	アササ キョウチクトウ テイカカスラ ツルニチニチソウ							
ミツハウツキ科 ツゲ科	コンスイ ツゲ フッキソウ							カガイモ科 アカネ科	カガイモ セエムクラ クチナシ ハシカグサ ヘクソカスラ ハクチョウゲ ヨウハムクラ							
ブドウ科	ノドウ ヤブガラシ エビヅル ツタ							ヒルガオ科	ヒルガオ							
アオイ科	フヨウ ムクゲ セニハアオイ															
アオイ科 シンチョウゲ科 グミ科	アオイ シンチョウゲ ナツグミ ナラシロクミ															
イキリ科 スミレ科	イキリ タチツボスミレ コスミレ マルバースミレ スミレ ニオイスミレ ツボスミレ アメリカスミレサイシン															
ウリ科	アマチャヅル アレチウリ カラスウリ キカラスウリ															
ミソハキ科 アカハナ科	サルヘリ ミスズマツ															

文献1：杉並区自然環境調査報告書(第5次)

文献2：杉並区 河川の生物 第五次河川生物調査報告書



表1 確認された植物(5/5)

科名	種名	文献1					文献2	科名	種名	文献1					文献2
		善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川			善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川
(ユリ科)	ノシラン							(イネ科)	ヌカキ						
	ジャノヒゲ								オオクサキ						
	ナガハジャノヒゲ								シラスメヒエ						
	オオハジャノヒゲ								チカラシバ						
	アマドコロ								クサヨシ						
	キチヨウソク								ヨシ						
	オモト								モウソクチク						
	ナキイカダ								アスマネササ						
	サルトリイバラ								ススメノカゲヒラ						
	シオデ								イチゴツナギ						
	ヤマカシウ								クマササ						
	タイワンホトキス								エノコグサ						
	ヒメヤブラン								オカメササ						
	ハタケニラ								セイバノモロコシ						
	ヒガンバナ科	ヒガンバナ								マコモ					
スイセン								トグシバ							
ヤマノイモ科	ヤマノイモ							コススメカヤ							
	ヒメトコロ							サヤヌカクサ							
ミスアオイ科	オニトコロ							ケチチミササ							
	ホテイアオイ							キビ							
アヤメ科	ハナショウブ							ススメヒエ							
	シャガ							アキエノコグサ							
	カキツバタ							ムラサキエノコ							
	キショウブ							ムラサキネスミノ							
	ニワセキショウ							シバ							
	ヒメヒオキスイセン							コウライシバ							
イグサ科	イ							ヤシ科	シロ						
	クサイ							サトイモ科	セキショウ						
ツクサ科	ツクサ							ムサシアブミ							
	ヤブミヨウガ							カラシビヤク							
	ハカガカラクサ							ウキクサ科	アオウキサ						
イネ科	カモシクサ							ミクリ科	ナガエミクリ						
	アオカモシクサ							ミクリ属の一種							
	ノハラススメノテッホウ							ガマ科	ガマ						
	メリケンカルカヤ							ガマ属の一種	ガマ属の一種						
	コブナグサ							カヤツリグサ科	アオスゲ						
	コハシソウ							マスクサ							
	イヌムギ							ジュズゲ							
	ノカリヤス							ヒカゲスゲ							
	ジュズタマ							ナキリスゲ							
	カモガヤ							コウソ							
	メヒシバ							ヒメクサ							
	コメシバ							タマガヤツリ							
	アキヒシバ							メリケンカヤツリ							
	イヌビエ							マツバイ							
	オヒシバ							フトイ							
	カセクサ							カヤツリクサ							
	ムキクサ							カワラスカタ							
	チガヤ							ザンカイ							
	ネズミムギ							スゲ属の一種							
	ヒメアジホソ							ラン科	シラン						
	アシボソ							エビネ							
	ササガヤ							キンラン							
	オキ							キンラン							
	ススキ							ジュンラン							
	チヂミササ							ネシバナ							

文献1：杉並区自然環境調査報告書(第5次)

文献2：杉並区 河川の生物 第五次河川生物調査報告書

資料 2

< 善福寺川で確認された鳥類 >

「杉並区自然環境調査(第 5 次)」のルートセンサス調査結果 (調査期間平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月) における善福寺川及び周辺で確認された鳥類を表 2 に示しました。

表 2 確認された鳥類

科名	種名	和名			科名	種名	和名		
		和田堀公園	済美公園とその周辺	善福寺川緑地			和田堀公園	済美公園とその周辺	善福寺川緑地
カイツブリ	カイツブリ				(セキレイ)	ハクセキレイ			
ウ	カワウ					セグロセキレイ			
サギ	ゴイサギ				ヒヨドリ	ヒヨドリ			
	ダイサギ				ツグミ	ジョウビタキ			
	チュウサギ					アカハラ			
	コサギ					シロハラ			
	アオサギ					ツグミ			
カモ	オシドリ				ウグイス	ウグイス			
	マガモ				ムシクイ類				
	カルガモ				エナガ	エナガ			
	コガモ				シジュウカラ	ヤマガラ			
	オナガガモ					シジュウカラ			
	キンクロハジロ				メジロ	メジロ			
	スズガモ				ホオジロ	アオジ			
タカ	オオタカ				アトリ	カワラヒワ			
ハヤブサ	チョウゲンボウ					シメ			
クイナ	バン				ハタオリドリ	スズメ			
ハト	キジバト				ムクドリ	ムクドリ			
カワセミ	カワセミ				カラス	オナガ			
キツツキ	コゲラ					ハシボソガラス			
ツバメ	ツバメ					ハシブトガラス			
セキレイ	キセキレイ								

## &lt; 善福寺川で確認されたトンボ類 &gt;

「杉並区自然環境調査(第 5 次)」の昆虫類調査結果(調査期間平成 14 年 1 月 ~ 平成 19 年 5 月)における善福寺川及び周辺で確認されたトンボ類を表 3 に示しました。

表 3 確認されたトンボ類

科名	種名	科名	種名
イトトンボ	クロイトトンボ	エゾトンボ	オオヤマトンボ
	キイトトンボ	トンボ	ショウジョウトンボ
	アジアイトトンボ		シオカラトンボ
	アオモンイトトンボ		シオヤトンボ
モノサシトンボ	モノサシトンボ		オオシオカラトンボ
アオイトトンボ	ホソミオツネントンボ		ウスバキトンボ
	アオイトトンボ		コシアキトンボ
	オオアオイトトンボ		チョウトンボ
カワトンボ	ハグロトンボ		コノシメトンボ
サナエトンボ	ウチワヤンマ		ナツアカネ
	オナガサナエ		アキアカネ
オニヤンマ	オニヤンマ		ノシメトンボ
ヤンマ	クロスジギンヤンマ		マイコアカネ
	ギンヤンマ		ミヤマアカネ
	ヤブヤンマ		

## &lt; 善福寺川で確認されたバッタ類 &gt;

「杉並区自然環境調査(第5次)」の昆虫類調査結果(調査期間平成14年1月～平成19年5月)における善福寺川及び周辺で確認されたバッタ類を表4に示しました。

表4 確認されたバッタ類

科名	種名	科名	種名
コオロギ	ハラオカメコオロギ	(キリギリス)	ヤブキリ
	ミツカドコオロギ		クビキリギス
	シバズ		クサキリ
	マダラスズ		カヤキリ
	エンマコオロギ		ハヤシノウマオイ
	ツツレサセコオロギ		ハタケノウマオイ
クサヒバリ	キンヒバリ	オンブバッタ	オンブバッタ
	クサヒバリ	バッタ	ショウリョウバッタ
マツムシ	アオマツムシ		トノサマバッタ
カネタタキ	カネタタキ		クルマバッタモドキ
カンタン	カンタン		コバネイナゴ
キリギリス	セスジツユムシ		ハラヒシバッタ
	サトクダマキモドキ		

## &lt; 善福寺川で確認されたチョウ類 &gt;

「杉並区自然環境調査(第 5 次)」の昆虫類調査結果(調査期間平成 14 年 1 月～平成 19 年 5 月)における善福寺川及び周辺で確認されたチョウ類を表 5 に示しました。

表 5 確認されたチョウ類

科名	種名	科名	種名
セセリチョウ	ダイミョウセセリ	(シジミチョウ)	ベニシジミ
	イチモンジセセリ		ムラサキツバメ
	チャバネセセリ		ムラサキシジミ
	キマダラセセリ		トラフシジミ
アゲハチョウ	ジャコウアゲハ		ヤマトシジミ
	アオスジアゲハ		ウラギンシジミ
	カラスアゲハ	テングチョウ	
	モンキアゲハ	タテハチョウ	
	キアゲハ	コムラサキ	
	ナガサキアゲハ	ミドリヒョウモン	
	クロアゲハ	ツマグロヒョウモン	
	ナミアゲハ	ヒメアカタテハ	
シロチョウ	ツマキチョウ	ウラギンヒョウモン	
	モンキチョウ	ゴマダラチョウ	
	キチョウ	ルリタテハ	
	スジグロシロチョウ	コミスジ	
	モンシロチョウ	ヒオドシチョウ	
シジミチョウ	ルリシジミ	キタテハ	
	ツバメシジミ	アカタテハ	
	アカシジミ	ジャノメチョウ	
	ウラナミシジミ	コジャノメ	
	ベニシジミ	ヒメジャノメ	
	ムラサキツバメ	サトキマダラヒカゲ	
		ヒメウラナミジャノメ	

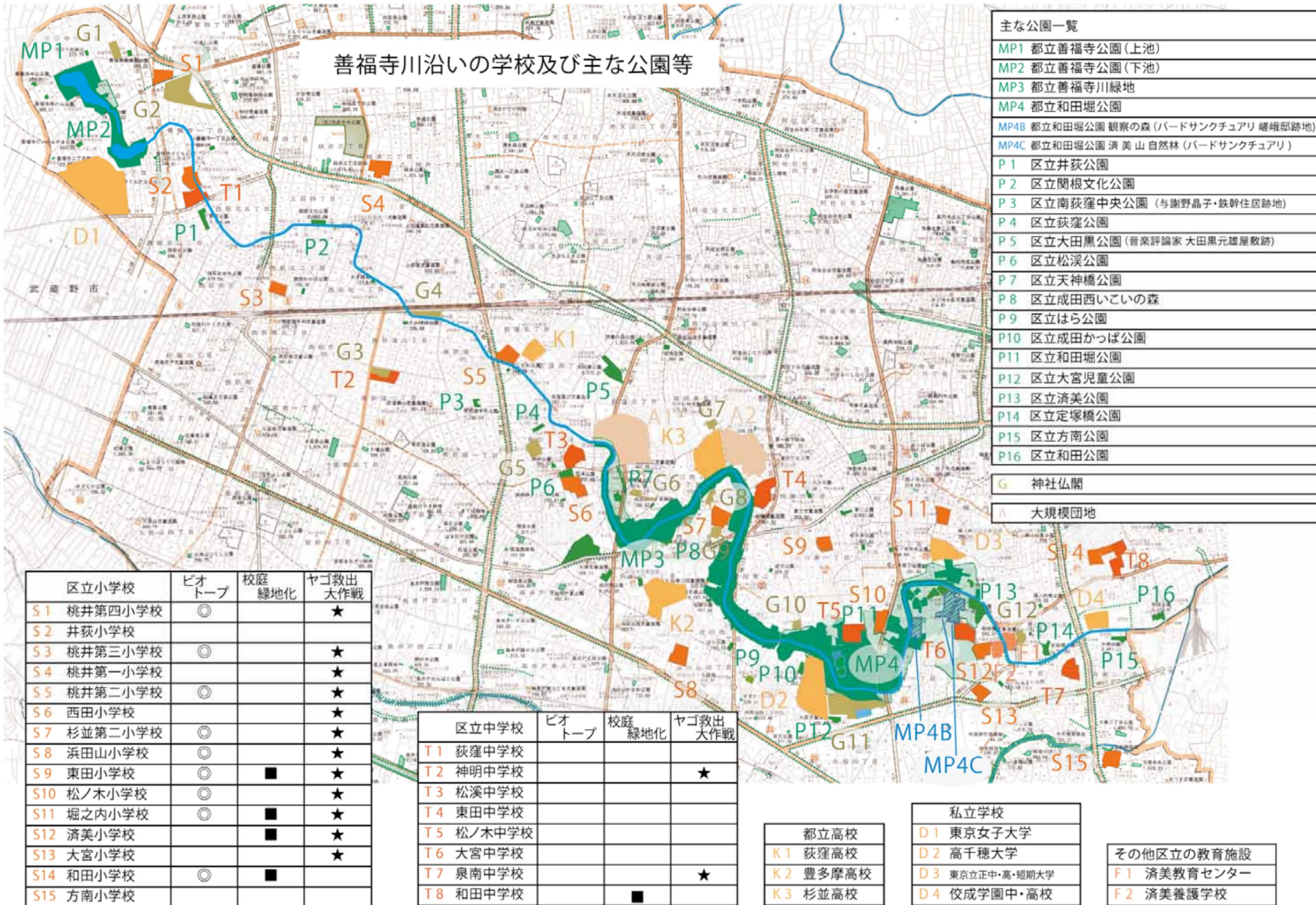
## &lt; 善福寺川で確認された魚類 &gt;

「杉並区 河川の生物 第5次河川生物調査」の魚類調査結果(調査期間平成16年8月及び10月)において、善福寺川及び周辺で確認された魚類を表6に示しました。

表6 確認された魚類

科	種名
ハゼ	トウヨシノボリ
コイ	コイ
	ギンブナ
	ドジョウ
	モツゴ
	オイカワ
	ヌマムツ
	タモロコ
ハゼ	ウキゴリ
サンフィッシュ	ブルーギル
メダカ	ヒメダカ

善福寺川沿いの学校及び主な公園等



主な公園一覧	
MP1	都立善福寺公園(上池)
MP2	都立善福寺公園(下池)
MP3	都立善福寺川緑地
MP4	都立和田堀公園
MP4B	都立和田堀公園 観察の森(バードサンクチュアリ 嵯峨邸跡地)
MP4C	都立和田堀公園 済美山自然林(バードサンクチュアリ)
P1	区立井荻公園
P2	区立関根文化公園
P3	区立南荻窪中央公園(与謝野晶子・鉄幹住居跡地)
P4	区立荻窪公園
P5	区立大田黒公園(音楽評論家 大田黒元雄屋敷跡)
P6	区立松溪公園
P7	区立天神橋公園
P8	区立成田西いこいの森
P9	区立はら公園
P10	区立成田かっぱ公園
P11	区立和田堀公園
P12	区立大宮児童公園
P13	区立済美公園
P14	区立定塚橋公園
P15	区立方南公園
P16	区立和田公園
G	神社仏閣
A	大規模団地

区立小学校	ビオトープ	校庭緑地化	ヤゴ救出大作戦
S1 桃井第四小学校	◎		★
S2 井荻小学校			
S3 桃井第三小学校	◎		★
S4 桃井第一小学校			★
S5 桃井第二小学校	◎		★
S6 西田小学校			★
S7 杉並第二小学校	◎		★
S8 浜田山小学校	◎		★
S9 東田小学校	◎	■	★
S10 松ノ木小学校	◎		★
S11 堀之内小学校	◎	■	★
S12 済美小学校		■	★
S13 大宮小学校			★
S14 和田小学校	◎	■	
S15 方南小学校			

区立中学校	ビオトープ	校庭緑地化	ヤゴ救出大作戦
T1 荻窪中学校			
T2 神明中学校			★
T3 松溪中学校			
T4 東田中学校			
T5 松ノ木中学校			
T6 大宮中学校			
T7 泉南中学校			★
T8 和田中学校		■	

都立高校	私立学校	その他区立の教育施設
K1 荻窪高校	D1 東京女子大学	F1 済美教育センター
K2 豊多摩高校	D2 高千穂大学	F2 済美養護学校
K3 杉並高校	D3 東京立正中・高・短期大学	
	D4 佼成学園中・高校	

区立の小学校・中学校は、主にその学区が善福寺川にかかる学校を抽出した。

平成20年12月末現在

## 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業検討懇談会委員名簿等

### ・委員名簿

氏名		所属等
会長	土屋 十囀	前橋工科大学社会環境工学科教授
副会長	飯村 晃	千葉県環境研究センター 水質地質部 水質環境研究室
委員	竹下 信雄	杉並野鳥研究会代表
	須田 孫七	東京大学総合研究博物館協力研究員
	橋本 健一	千葉県立衛生短期大学生物学研究室
	佐々木 幹夫	西田小・杉二小講師
	鈴木 富雄	杉並環境カウンセラー協議会理事長
	山室 京子	環境カウンセラー みどりのボランティア杉並
	六車 貴美子	環境カウンセラー すぎなみ環境カエルくらぶ
	舩原 邦明	東京都建設局第三建設事務所工事第二課長
	櫻井 國男	東京都建設局東部公園緑地事務所事業推進課長

### ・事務局

杉並区都市整備部建設課

・ 検討懇談会の開催状況

年月日		回	内容
平成 20 年	9 月 19 日	1	・ 事業の目的と概要の確認 ・ 善福寺川の自然環境の現状把握
	10 月 4 日	2	・ 現地視察 ・ 現地視察の感想
	10 月 24 日	3	・ 第 1 回及び第 2 回検討懇談会の内容確認 ・ 事業の目標と基本方針の検討
	11 月 21 日	4	・ 第 3 回検討懇談会の内容確認 ・ 事業への提言(素案)
	12 月 19 日	5	・ 第 4 回検討懇談会の内容確認 ・ 事業への提言(案)

・ 引用文献

- ・ 「平成 9 年度緑化基本調査報告書」  
杉並区 平成 10 年 3 月
- ・ 「杉並区 河川の生物 - 第五次河川生物調査報告書 - 」  
杉並区環境清掃部環境課 平成 17 年 3 月
- ・ 「すぎなみの川と生き物」  
杉並区環境清掃部環境課 平成 17 年 3 月
- ・ 「杉並区自然環境調査報告書(第 5 次)」  
杉並区環境清掃部環境課 平成 20 年 3 月
- ・ 「杉並区みどりの実態調査報告書」  
杉並区都市整備部みどり公園課 平成 20 年 3 月

善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業への提言書



都市整備部 建設課  
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
TEL 03-3312-2111(大代表)  
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

歩きながら、  
元氣と文化が  
生まれる街。  
すぎなみ

平成21年2月発行

登録印刷物番号
20-0116